

2024年・春

竹久夢二美術館 企画展プレスリリース

夢二がえがく

動物ワンダーランド

大正ロマンのイラスト&デザインを中心に



2024年4月6日(土) >>>

6月30日(日)



竹久夢二美術館



動物は、生活の上で人間と様々な関わりを持ちながら、美術の分野においても数多く題材となり、幅広い表現が展開されています。

大正ロマンの画家・竹久夢二(1884-1934)は小動物を飼育し、また動物園にも足を運んで、動物に関心を寄せていました。夢二が描く女性絵や童画は、犬・猫をはじめとする動物が人に寄り添い、さらに書籍装幀やすごろくでは、遊び心を加えて動物の姿を図案化しました。

本展では、夢二が描き表した鳥・虫・魚類を含む生き物に着目し、ユニークで個性的な動物表現を紹介します。

竹久夢二 プロフィール

本名・茂次郎(もじろう) 1884-1934(明治17年-昭和9年)
岡山県生まれ 画家・詩人 **【2024 年は生誕140年】**



センチメンタルな画風の(夢二式美人画)作品をはじめ、恋多く、旅も重ねて大正ロマンを象徴する存在として広く知られる。
明治・大正期の雑誌に発表した数々のイラストレーションをはじめ、日本画・水彩画・油彩画・木版画、さらにデザイン分野の作品を手掛け、さらに詩、童謡の創作にも才能を発揮し、詩画を融合させた芸術を開花させた。

展示の見どころ

- ✓ 夢二が描いた約**100種類**の動物を紹介！独自の観察眼より描写された、個性的な動物表現に注目します。
- ✓ 動物に関連して、夢二が描いた**動物園**及び**玩具の動物**、特に**テディベア**を取り上げます。
- ✓ 美人画のイメージが強い画家・夢二の**知られざる一面**と多彩な表現を、動物画を通じて紹介します。

ネコ

①晩春 1926年

雑誌『グラフィック』の口絵ページに掲載。部屋でくつろぐ女性とネコが微笑ましい。



クロネコ

②夢二画集 都会の巻 1911年
夢二著書のカバーに描かれた、ミステリアスなクロネコ。



ウサギ

③『淑女画報』
新年特別号「白兔」
1915年

白ウサギと小鳥が、草花とあわせてアールヌーヴオー調にデザインされた、雑誌『淑女画報』表紙絵。



ネズミ

④鼠の探検 1911年
与謝野晶子・作の童話に、夢二が挿絵をつけている。雑誌『小学少女』に掲載。



ゾウ

⑤青い海越えはるばると 1914年頃

夢二によるゾウを思ふ詩が書かれている。
青い海越えはるばると
日本の島へきた象は、
何が悲しくて泣きやぞ
かなしいのではないけれど
生れ故郷が なつかしい。



コウモリ 日本画

⑥夢香洲夏夕幻影 1914年
むかしまなつのよのまほし
日本画に描かれた女性が装う着物は、コウモリの柄である。



すごろく

⑦少女と動物双六 1925年

17種類の動物がカラフルに描かれたすごろく。
大正時代のお正月遊びは、すごろくが定番だった。



キツネ

⑧狐の約束 1925年

童話集の表紙絵を飾るのは、擬人化したキツネとアヒルで、洋服もおしゃれ。



ブンチョウ

⑨日本少年 絵ハガキ 1910年代

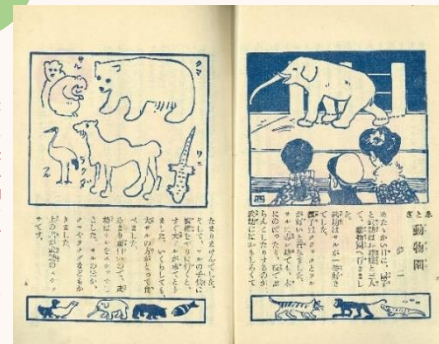
雑誌『日本少年』の読者プレゼント用絵書は、仲睦まじいブンチョウが描かれている。



動物園

⑩ゑとぎ 動物園 1911年

夢二が雑誌『少女の友』に寄稿した、動物園のお話と挿絵。



玩具

⑪サンタクロース 1915年

サンタクロースが玩具や木馬をプレゼント。ぬいぐるみのクマはテディベア。



★夢二は日本で、いち早くテディベアを描きました★



展示コーナー紹介

- ✧ 小さい動物 (イヌ・ネコ/クロネコ・ウサギ・ネズミ 他)
- ✧ 大きい動物 (ゾウ・ラクダ・ウマ・クマ 他)
- ✧ 虫&クモ&カタツムリ (チョウ・トンボ 他)
- ✧ 鳥 (小鳥…ブンチョウ/スズメ他・ツバメ・ツル・ハクチョウ 他)
- ✧ 魚&カニ
- ✧ 日本画に描かれた動物
- ✧ すごろくに描かれた動物
- ✧ たのしい動物園
- ✧ 玩具と動物
- ✧ 動物を描いてみよう!



展覧会概要

展覧会名称

夢二がえがく動物ワンダーランド
～大正ロマンのイラスト&デザインを中心に～

主催及び会場 竹久夢二美術館

住所 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2

Tel 03-5689-0462

会期 2024年4月6日(土)～6月30日(日)

休館日 月曜日・5/7(火)
※4/29(月・祝)、5/6(月)開館

開館時間 午前10時～午後5時
(入館は4時30分まで)

交通

東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び
南北線〈東大前駅〉よりいずれも徒歩7分
J R上野駅 公園口より徒歩20分



入館料

一般 1000円 大・高生 900円
中・小生 500円
※弥生美術館と二館併せてご覧頂けます。

ギャラリートーク

4/13(土)・5/12(日)・6/8(土)
いずれも午後2時より、担当学芸員が
展示解説を行います。(所要時間約45分)

ホームページ

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>



12 展覧会チラシ

竹久夢二美術館

1990年11月3日開館。創設者・鹿野琢見
(1919-2009)の夢二コレクションを公開
しています。

館が建つ東京・本郷は、夢二が滞在した〈菊富
士ホテル〉がかつてあり、最愛の女性・笠井彦
乃と逢瀬を重ねた場所。今なお昔の風情を留め
て静けさと木々の緑に包まれています。都内で
夢二作品を鑑賞できる唯一の当館では、年4回
3カ月ごとに企画展を行い、夢二の生涯や芸術
より様々なテーマ
を採り上げ、常時
約200～250
点の夢二作品を展
示しています。



美術館に併設 夢二カフェ 港や

店名の「港や」は、竹久
夢二が大正3年に東
京・日本橋に開店した
小間物店「港屋絵草紙
店」から名づけました。

大きな窓がある2階席
からは、緑豊かな美術
館中庭が眺められ、静
かで落ち着いた時間を
お過ごし頂けます。お
手頃価格で、コーヒー
やケーキ、カレーをお
楽しみください。



展覧会についてのお問い合わせは

竹久夢二美術館 学芸員 石川桂子 までお願いいたします。

Tel 03-5689-0462 fax 03-3812-0699



FAX 03-3812-0699

竹久夢二美術館 石川 行

夢二がえがく
動物ワンダーランド
大正ロマンのイラスト&デザインを中心に

画像使用申込書



画像送付日 月 日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望の図版番号に○をしてください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する	希望しない
-------------------	------	-------

通信欄

画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールで画像データをお送りいたします。
ご希望の場合は、この申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお送りください。
また美術館写真（外観／展示室）等を必要とされる場合はご一報ください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名様分）をご用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 竹久夢二美術館 担当 石川宛